

医薬品 研究報告 調査報告書

識別番号・報告回数			報告日	第一報入手日	新医薬品等の区分	総合機構処理欄
一般的名称	-		研究報告の 公表状況	http://www.hpa.org.uk/cdr/archives/2005/cdr3005.pdf	公表国	
販売名(企業名)	-				英国	
研究報告の概要	<p>英国における輸血伝播感染症 (TTI) のサーベイランスは 1995 年 10 月に開始された。</p> <p>2004 年、イギリス全土の血液センターにより 34 件の TTI の疑い例が報告され、徹底的な調査の後、1 件の報告 (E 型肝炎) のみが、輸血伝播感染症であると確定された。</p> <p>頻回に供血を行っているこの供血者は、供血の 23 日後に黄疸を発症し、その血小板と赤血球は輸血に使用されており、サンプル検査をしたところ、E 型肝炎ウイルス (HEV) RNA 陽性であることが確認された。</p> <p>血小板の受血者 2 例のうち 1 例 (55 歳女性) は、輸血後 84 日目の検査で、HEV 感染症のいずれのマーカ―も陰性であった。他の 1 例 (65 歳男性) は、リンパ腫に起因する貧血の治療のため赤血球の投与を受け、その 2 カ月後に HEV RNA と HEV IgM が陽性であったが、輸血 3 カ月後には、HEV RNA 陰性となった。</p> <p>解析の結果、供血者と受血者のウイルスが同一であった。</p>					使用上の注意記載状況・ その他参考事項等
	報告企業の意見	今後の対応				
輸血による E 型肝炎伝播に関する報告である。現在まで、血漿分画製剤による伝播の報告はなく、製造工程中にはウイルス不活化除去工程を設けているが、今後とも関連情報の収集に努める。	今後とも同様な情報に留意し、関連情報の収集に努めていく。					